

第 26 回中小企業問題研究会・開催結果報告

開催日：平成 22 年 2 月 4 日（木）9:30～19:30 於：横浜シンポジア

報告：(社)日本技術士会（中小企業交流実行委員会）

1. はじめに

「第 26 回中小企業活性化研究会」は、「中小企業の活性化による産業新時代の創造～神奈川力を高める中小企業と技術士の役割～」をテーマに、関係官庁・団体・企業関係者 70 名、技術士 104 名、総計 174 名の参加、文部科学省、経済産業省中小企業庁、神奈川県の後援を得て開催された。神奈川県では 10 年振りの開催であったが、国際会議場「横浜シンポジア」を満員にする盛会で、成功を納めた。

2. 大会の概要

2. 1 研究会概要

高橋修(社)日本技術士会会長の開会挨拶、来賓の松沢成文神奈川県知事からご挨拶を戴いた後、プログラムに沿って進められた。



2. 2. 特別講演

「中小企業ものづくり支援策について」中小企業庁 創業支援部 喜多見淳一 創業・技術課長より、「中小企業支援施策について～ものづくり支援策を中心に～」と題して、「中小企業の現状と中小企業支援策について」、「中小企業を守る」、「雇用を守る」、「仕事を作る」の 4 テーマについてスライドにより詳細にご紹介頂いた。

つづいて、小林賢神奈川県商工労働部長より、「神奈川県の産業振興策について」ご説明頂いた。

2. 3. 基調講演

「Small is beautiful. 小さいことは良いことだ、21 世紀のマーケットは中小企業が創る」をテーマに、首都大学東京 名誉教授 工学博士 福田収一氏に、先生のご専門であるシステム工学面からのユニークな発想でマーケットづくりについて解説され、役に立つ技術士であるための有益な助言が得られた。

2. 4. パネルディスカッション

神奈川県技術士会の大川会長をコーディネーターとして、神奈川県産業技術センター馬飼野所長、「かながわビジネスオーディション」を担当していた青山進技術士、神奈川ビジネスオーディションで神奈川県技術士会賞を受賞された企業の内から 4 社の皆さんにお集まり頂き、「産業新時代に向けて中小企業に対する技術士の貢献」をテーマに中小企業に対する技術士のあり方を模索した。技術士に対しては、限られた開発資源を有効活用して製品に結びつけるためのアドバイスを期待されており、これに的確にこたえる技術士であるために、十分な研鑽の努力をする必要がある。

3. 総括

講演者、パネリストからは、技術士に対する期待を込めての提案、熱いメッセージがあり、交流会でも大いに話題になった。

以上